

量子技術が拓く中国地方の産業未来図 ～製造・金融から地方創生・人材育成まで～

「量子×AI」や「中小企業の最適化」、そして「地方創生」。実用フェーズに入った量子技術を、中国地方の産業発展にどう活かすか。ビジネス実装の最前線を知り、未来を共創する必聴の場です。

基調講演

YUICHIRO MINATO



①量子コンピュータの最新動向
blueqat（株） 湊 雄一郎

YASUHISA YAMASHITA



②量子技術を支える“知”の基盤
～教育と最新技術から始める産業への橋渡し
(株) 東陽テクニカ 山下 泰久

事例紹介

NAOAKI MOCHIDA



量子最適化が拓く製造業の新しい意思決定
～学生が挑む、省エネと生産性の両立
QuantumFabic（株） 持田 尚亮

SHOHEI UNO



金融機関における量子技術活用の取り組み
みずほリサーチ&テクノロジーズ（株）
宇野 隼平

OSAMU TOBA



TOPPANの量子セキュリティへの取り組み
TOPPANデジタル（株） 鳥羽 牧

HIDETAKA TAKANO



量子コンピュータ社会に向けた“人づくり”戦略
(一社) 日本量子コンピューティング協会
高野 秀隆

YUKI ISHIHARA



量子×AI時代のデータ基盤を創る
デジタルツインを支える時空間データとWEB3技術
ダッタラ（株） 石原 裕輝
(株) CodeFox 進藤 史裕

HUMIHIRO SHINDO



中小企業、工場での最適化計算の実用
～HI-QUBOサービス、量子コンピュータの可能性
デジタルソリューション（株） 小谷 憲雄

NORIO KODANI



「因子はAIが発見し、解は量子が選ぶ」
～生成AIと量子最適化のハイブリッド
(株) アクティヴァーチ・コンサルティング
岩見 哲也

TETSUYA IWAMI



RYOGA TERAZONO



『ZEBRA』の精神で挑む地方創生
量子技術×AIが導く、持続可能な地域社会の再定義
(株) ZebraQuantum 寺園 諒雅

量子コンピュータ

2.12

9:30~12:40
(開場9:00)

会場：Digital Pride Hiroshima + オンライン
(広島市中区東千田町1-1-61hitoto広島ナレッジスクエア1階)

#参加無料/要申込 #どなたでも参加できます

パネルディスカッション

夢物語から実用へー中国地方の産業現場で
『量子技術』はどう生きるか？

【モデレータ】

(一社) 日本量子コンピューティング協会 伊吹 宗治

【パネリスト】

デジタルソリューション（株） 小谷 憲雄

みずほリサーチ&テクノロジーズ（株） 宇野 隼平

QuantumFabic（株） 持田 尚亮

(株) ZebraQuantum 寺園 諒雅

TIME TABLE

9:30 -9:35	開会挨拶
9:35 -9:50	基調講演①
9:50 -10:05	基調講演②
10:10-11:20	事例紹介
11:25-12:00	パネルディスカッション
12:00-12:40	名刺交換会

参加方法

参加ご希望の方は、以下URLまたは
二次元コードから申込ください。

<https://mm-enquete-cnt.meti.go.jp/form/pub/chugoku-digital/techtothefuture2026>



申込締切

2月1日（日）17:00

定員（定員到達次第、締切）

会場：60名

オンライン：300名

名刺交換会・交流会（参加任意）

無料

問い合わせ先

(一社) 日本量子コンピューティング協会

☎ 090-1803-6563

✉ info@jqca.org

Main Speakers

基調講演①

YUICHIRO MINATO



量子コンピュータの最新動向

blueqat（株） 湊 雄一郎

東京都生まれ。東京大学工学部卒業。隈研吾建築都市設計事務所を経て、2008年にMDR（現 blueqat）株式会社設立。2015年総務省異能vation最終採択、2017~19年内閣府ImPACT山本プロジェクトPM補佐、2019~2021年文科省さきがけ量子情報領域アドバイザー、2022年~SEMI量子コンピュータ協議会委員長

基調講演②

YASUHISA YAMASHITA



量子技術を支える“知”の基盤 ～教育と最新技術から始める産業への橋渡し～

（株）東陽テクニカ 山下 泰久

東京都生まれ。中央大学理工学部物理学卒業後、東陽テクニカに入社。ナノ構造解析用顕微鏡の技術営業として、大学や企業の研究開発支援に従事。2025年8月より量子コンピューターおよび量子センシング事業の立ち上げを担当し、国内外の技術動向調査やパートナー連携の検討を進めている。量子技術の社会実装に向け、事業基盤構築を推進中。

事例紹介

NAOAKI MOCHIDA



量子最適化が拓く製造業の新しい意思決定～学生が挑む、省エネと生産性の両立～

QuantumFabric（株） 持田 尚亮

Quantum Fabric にて量子最適化の社会実装を進める学生研究者。製造業における段取り替え削減、在庫最適化、エネルギー消費抑制など、離散最適化が必要とされる現場課題に対して、量子アニーリングの応用を研究。鉄道制御や数独最適化など抽象問題の検証から、製造計画への実用化を試行し、「量子技術を研究から現場へ」をテーマに次世代産業の意思決定を再設計する挑戦を続けている。

SHOHEI UNO



金融機関における量子技術活用の取り組み

みずほリサーチ＆テクノロジーズ（株） 宇野 隼平

愛知県生まれ。名古屋大学大学院修了（博士（理学））。2018年から慶應義塾大学量子コンピューティングセンターの共同研究員として金融分野の量子アルゴリズム研究を開始。現在、みずほリサーチ＆テクノロジーズ サイエンスソリューション部 課長・上席主任研究員、東京大学 客員教授／サステナブル量子AI研究拠点副プロジェクトリーダー、早稲田大学招聘研究員として、量子コンピュータ、量子化学、マテリアルズ・インフォマティクス、金融工学の産学連携研究と量子技術の社会実装に取り組んでいる。

OSAMU TOBA



TOPPANの量子セキュリティへの取り組み

TOPPANデジタル（株） 鳥羽 牧

大阪府生まれ。京都大学大学院情報学研究科 博士後期課程 単位取得退学。専門は機械学習。2001年に凸版印刷株式会社に入社、システム開発等に従事。経営企画本部を経て、経団連21世紀政策研究所、内閣府 政策統括官（科学技術・イノベーション担当）に出向。2020年から量子技術を活用した研究開発・事業開発を開始。2025年から現職にてAIを含む量子・情報科学研究を担当。

HIDETAKA TAKANO



量子コンピュータ社会に向けた“人づくり”戦略

（一社）日本量子コンピューティング協会 高野 秀隆

兵庫県生まれ。千葉大学大学院修了。都市計画、不動産、IT企業創業を経験。2020年より（株）長大で量子技術による新規事業企画を担当し、2021年にクオインタムシティプロジェクトを開始。2022年に（株）長大クオインタム推進部部長、東北大学特任准教授、Q-STARクオインタムシティ推進部会長就任。2023年に（一社）日本量子コンピューティング協会代表理事就任。2024年に（一社）日本生成AI協会代表理事就任。2025年に山梨市クオインタムシティ推進プロジェクト COO就任。

TTTF2026 会場案内

TECH TO THE FUTURE

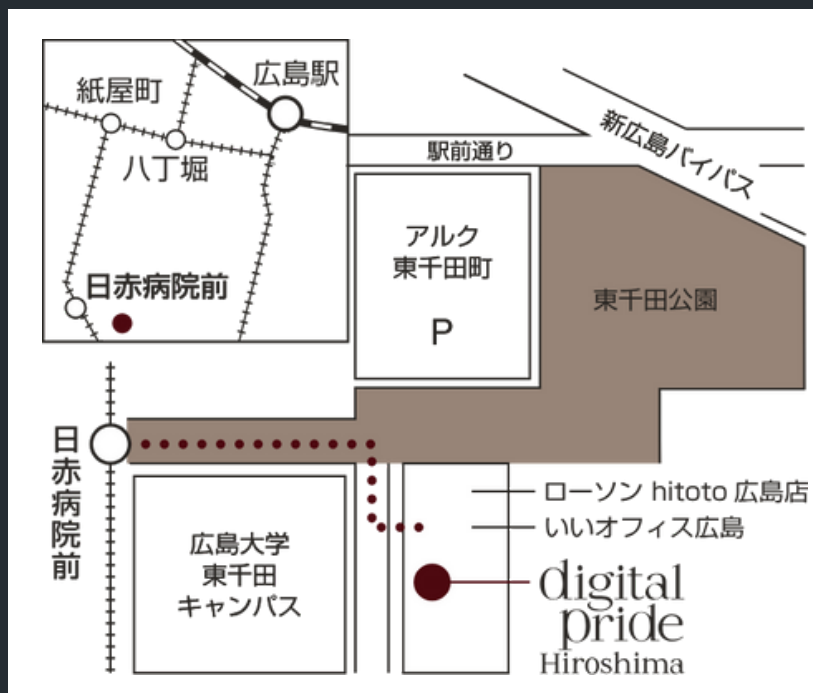
2/12AM

DAY4



Digital Pride Hiroshima

広島市中区東千田町1-1-61hitoto広島ナレッジスクエア 1 階



【電車】 広島電鉄宇品線「日赤病院前」駅から徒歩約8分

【バス】 広島交通バス「日赤病院前」バス停から徒歩約4分